



学校だより

第3号

令和7年3月12日発行

神奈川県立えびな支援学校

今年度もいよいよあとわずかとなりました。保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援をいただき本当に感謝しております。今年度は地域の方々に向けた交流を進めていく中で、「中新田かかしまつり」への出展や来場制限のないよつば祭の開催、また地域の方へ向けた高等部作業班のサロン活動も本格的に再開されました。今年度結成した生徒によるバンドの演奏では、「津軽海峡・冬景色」から「パプリカ」など聞いてくれる客層に合わせて楽曲を披露し、校内外に活動の場を拡げ交流を深めることができました。

来年度はいよいよ『えびな支援学校創立10周年』を迎えます。さまざまなことが起きたこの9年間で振り返りつつ、次の未来に向けて気持ち新たに一歩ずつ前進していきたいと思います。

(B 高等部学部長 室伏)

B部門 小学部5年生

B 小学部5年生は、2月13日(木)に海老名駅にあるダイソーへ校外学習に行きました。3学期に入ってから、「ダイソーに行こう!」を合言葉に、商品を選んだり、お金を支払ったり、買った商品をエコバックに入れたりといった練習や、路線バスに乗るための練習を頑張ってきました。当日はお菓子の種類の多さに目をキラキラさせながら、あれもこれも欲しい思いをグツとこらえ、吟味して1つ選ぶ…。そんな姿にこの一年間の子どもたちの成長と頑張りを感しました。さすが5年生です!



B部門 高等部1年生

B 高等部1年生は、2月に校外学習で旧石器ハテナ館に行ってきました。石器時代の暮らしの展示を見学したり、古墳や竪穴式住居を見たり、実際に中へ入ったりしました。その中で生徒が特に興味を持って楽しんだのが「火起こし体験」でした。二人組での火起こしや、個人での火起こしなど、一所懸命に行う様子が見られました。そして火が付いた時にはみんなとても満足した笑顔を見せてくれました。校外でのさまざまな体験が生徒をより成長させたと感じる校外学習でした。



B 部門 中学部1年生

B 部門中学部1年生は、毎週水曜日の作業の時間に中央農業高校の畑をお借りして農作業を行っています。育てた作物は、枝豆、茄子、大根、さつま芋、ほうれん草です。生徒たちが種や苗を植え、暑い日も寒い日も定期的に水をあげながら大切に育てていました。自分たちで育てた野菜を収穫する体験では、みんな良い笑顔で収穫することができました。さらに、収穫した野菜は、自宅に持ち帰り調理をしていただいたり、学校で調理したりして食べました。中央農業高校の皆さんにもたくさんお手伝いをしていただき、いろいろなことを教えていただきました。地域との連携も併せて図ることができました。



A 部門 中学部

A 部門中学部では、2月6日(木)に「伊勢原市立子ども科学館」に遠足に行きました。今年度最後のお出かけということもあって、みんなとても楽しみにしていました。当日は天候にも恵まれて、さまざまな展示品や実験の体験をすることができました。手をたたくと電飾が点灯するイチゴのオブジェでは、一所懸命手をたたいてイチゴを輝かせたり、上から落下するボールをボタンを押してキャッチするアトラクションに何度も挑戦したり、回転する盤に立ってフィギュアスケートのスピンを体験したりと、楽しく過ごすことができました。また昼食は持参のお弁当を食べて、みんな笑いの絶えないにぎやかな一日を過ごすことができました。

